

滋賀文教短期大学 卒業後のアンケート（2018年度卒業生対象）

令和元(2019)年10月
滋賀文教短期大学

- 目的：
・卒業生の在職等の現在の状況の確認のため
・今後の本学の進路支援・教育内容の質の向上のため
- 対象： 平成30(2018)年度 本学卒業生（帰国した留学生を除く）
- 方法： 卒業生本人へ郵送し、返信用封筒にて回収
- 時期： 令和元(2019)年9月

件数：

	卒業	発送	返送	返送率
国文学科	29	28	14	50.0%
子ども学科	60	60	23	38.3%
計	89	88	37	42.0%

（返送数は調査年9月24日現在）

質問：

A.回答者の現在の在職等の状況

- 1.回答者氏名
- 2.回答者の卒業時の就職先
- 3.現在の在職状況（退職の場合は退職日と理由）
- 4.現在の状況（就職以外の進路の場合）

B.進路選択や就職活動において、役立ったものを3つ選択してください。

- 1.授業（単位認定される正課の授業）
- 2.就職支援講座・筆記試験対策講座
- 3.キャリアデザインセンターでの個別相談、個別面接練習
- 4.担任教員との個別相談、個別面接練習
- 5.所属学科等の教員との個別相談、個別面接練習、専門分野の相談等
- 6.その他

C.進路について、以下の質問にそれぞれ該当する評価を1つずつ選択してください。

①入職前、自分自身の就職先等の進路に満足していましたか。

- 1.満足 2.普通 3.不満足

②入職後（卒業後）、就職先（進路）に満足していますか。

- 1.満足 2.普通 3.不満足

③その他（記述）

- 1.満足 2.普通 3.不満足

④入職や卒業の前後で満足度に差がある方は、その理由をお答えください。

D.進路に限らず本学の教育内容について、何かご意見がありましたらお書きください。

実施後：

- ・本学ホームページ上で卒業後アンケートの集計結果を公表
- ・本学ホームページ上で正規のうち6ヶ月以内の離職状況を公表
- ・集計結果をふまえ、学内の進路支援および教育内容の改善を検討する

滋賀文教短期大学 卒業後のアンケート 集計結果 (2018年度卒業生対象)

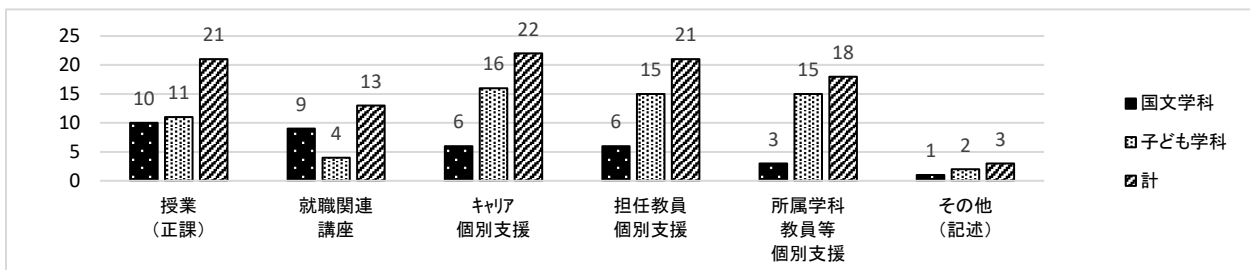
令和元(2019)年9月24日現在

A.回答者の現在の在職等の状況

離職状況について他の調査結果と併せて別途公表するため、ここでは省略する。

B.進路選択や就職活動において、役立ったものを3つ選択してください。

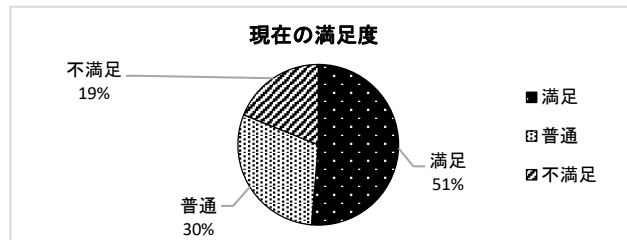
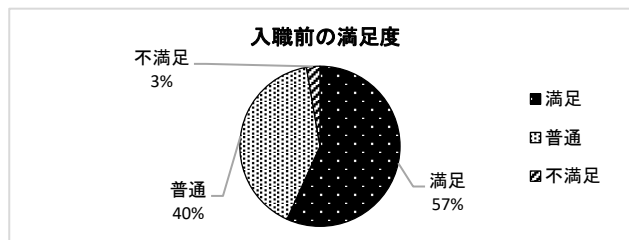
	全体支援		個別支援			その他 (記述)
	授業 (正課)	就職関連 講座	キャリア 個別支援	担任教員 個別支援	所属学科 教員等 個別支援	
国文学科	10	9	6	6	3	1
子ども学科	11	4	16	15	15	2
計	21	13	22	21	18	3
支援比較	34		61			



- ・1名につき3つ選択する質問項目だが、そのうち8名は2つ以下しか選択していない。
- ・国文学科は授業や講座等の全体支援、子ども学科は個別支援の方が多く選択された。
- ・今後も多面的な進路支援を行っていく。また、教職員間で連携して個別支援を行う。

C.進路について、以下の質問にそれぞれ該当する評価を1つずつ選択してください。

	①入職前				②現在			
	満足	普通	不満足	計	満足	普通	不満足	計
国文学科	9	5	0	14	8	5	1	14
子ども学科	12	10	1	23	11	6	6	23
計	21	15	1	37	19	11	7	37



■入職前と現在の満足度の比較

	前:満足 今:満足	前:満足 今:普通	前:満足 今:不満足	前:普通 今:満足	前:普通 今:普通	前:普通 今:不満足	前:不満足 今:満足	回答数
国文学科	7	2	0	1	3	1	0	14
子ども学科	9	1	2	1	5	4	1	23
計	16	3	2	2	8	5	1	37

※上記以外の組み合わせで選択した卒業生はいなかったため、省略している。

- ・入職前も現在も半数以上が満足という評価を選択している。
- ・一方で、入職前は不満足が1名だったのに対し、現在は不満足が7名となっている。仕事の量や内容等を理由として記述した卒業生が多く、入職前のイメージとのギャップが生じている。今後も在学生には、ミスマッチを無くすために慎重な進路選択を行うよう指導していく必要がある。

D.進路に限らず本学の教育内容について、何かご意見がありましたらお書きください。

主に授業や行事の内容についての意見が記述された。今後、教育内容の改善に向けた検討の材料とする。

以上